

県勢主要統計指標

第368号

平成26年（2014年）12月

大分県企画振興部統計調査課

今月の概要

1 大分県の推計人口(平成26年11月1日現在)

県人口	1,171,455人	(対前月 247人減少)
前1ヵ月間の自然動態	334人減少	(出生者数 785人、死亡者数 1,119人)
社会動態	87人増加	(転入者数 2,550人、転出者数 2,463人)

2 県内経済の動向

2-1 主要経済指標の動向

- 1 鉱工業指数 平成26年10月の鉱工業生産指数(季節調整済指数、平成22年=100)は95.2(前月比▲2.4%)となり、2か月ぶりに低下した。
- 2 消費者物価 平成26年10月の大分市消費者物価指数(平成22年=100)は103.9となり、前月に比べて▲0.3%と4か月ぶりに下落した。
- 3 大型小売店販売額 平成26年10月の大型小売店販売額は97億00百万円で、前年同月に比べ全店ベース、既存店ベースともに▲1.0%となり7か月連続で減少した。
- 4 外国貿易 平成26年10月の輸出額は650億79百万円(前年同月比▲18.3%)で2か月ぶりで減少、輸入額は1,583億15百万円(同+5.6%)で2か月連続の増加となった。
- 5 公共工事 平成26年11月の県内公共工事請負金額は49億22百万円で、前年同月に比べて▲36.5%と4か月連続して減少した。
- 6 新設住宅着工 平成26年10月の新設住宅着工戸数は543戸で、前年同月比▲13.8%と2か月ぶりに減少した。内訳では、持家、分譲住宅が減少した。
- 7 企業倒産 平成26年11月の県内企業倒産は、件数が1件(前年同月比▲75.0%)、負債総額が12百万円(同▲99.1%)となった。
- 8 職業紹介 平成26年10月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月を0.01ポイント上回り、0.94倍となった。

2-2 景気動向指数(DI)(平成26年9月分)

先行指数	16.7%	(2か月連続して50%を下回った)
一致指数	100.0%	(6か月ぶりに50%を上回った)
遅行指数	33.3%	(19か月ぶりに50%を下回った)

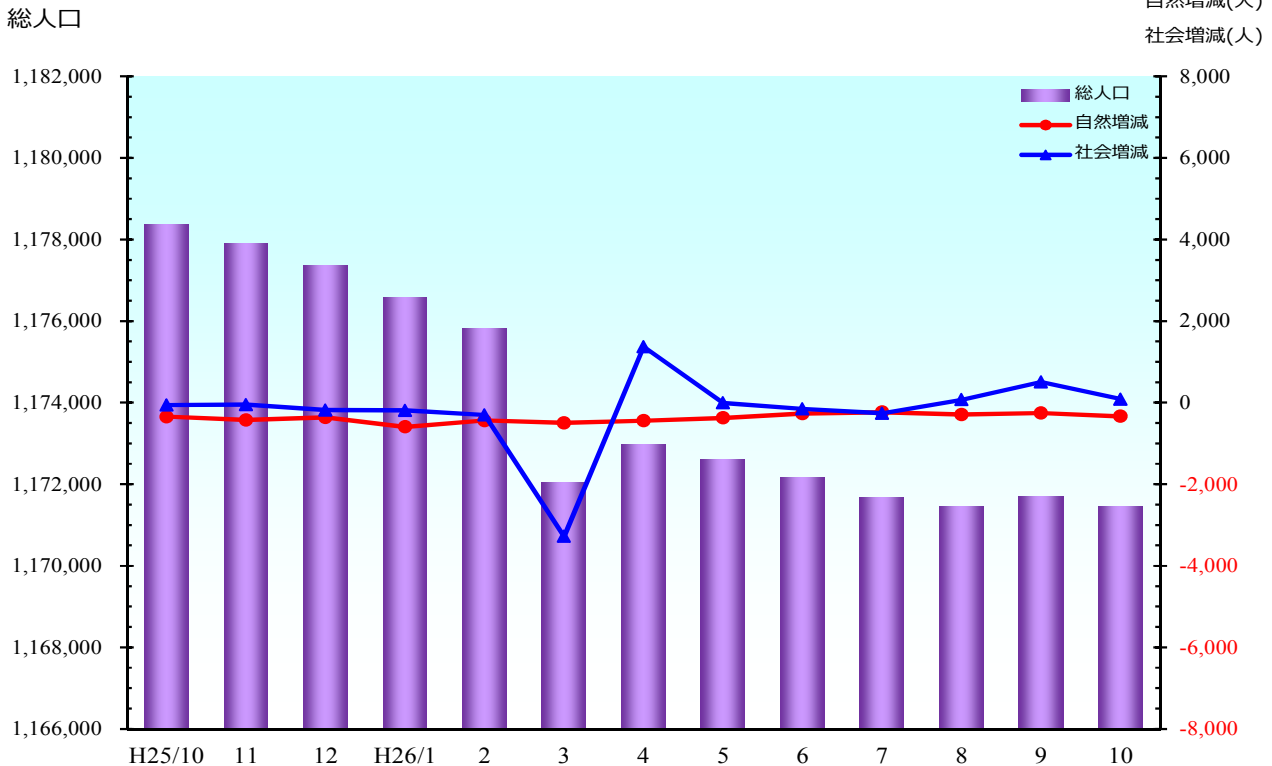
指標一覧・目次

番号	指標名	大分県	全国	頁
1	大分県の推計人口	(平成 26 年 11 月 1 日現在) 1,171,455 人 (前月比 ▲247 人 ▲0.02%) (前年同月比 ▲6,917 人 ▲0.59%)	(平成 26 年 11 月 1 日現在) 1 億 2,708 万人 (前月比 ▲1 万人 +0.01%) (前年同月比 ▲22 万人 ▲0.17%)	1
2-1-1	鉱工業指数	(平成 26 年 10 月) 生産指数(季節調整済指数) 95.2 (前月比 ▲2.4%) (原指数 前年同月比 ▲2.0%)	(平成 26 年 10 月) 生産指数(季節調整済指数)98.4 (前月比 + 0.4%) (原指数 前年同月比 ▲0.8%)	2
2-1-2	消費者物価	大分市(平成 26 年 10 月) 総合指数 103.9 (前月比 ▲0.3%) (前年同月比 +2.9%)	(平成 26 年 10 月) 総合指数 103.6 (前月比 ▲0.3%) (前年同月比 +2.9%)	3
2-1-3	大型小売店販売額	(平成 26 年 10 月) 総額 9,700 百万円 (前年同月比 (全店) ▲1.0%) (前年同月比 (既存店) ▲1.0%)	(平成 26 年 10 月) 総額 1,606,490 百万円 (前年同月比 (全店) +1.0%) (前年同月比 (既存店) 0.0%)	4
2-1-4	外国貿易	(平成 26 年 10 月) 輸出総額 65,079 百万円 (前年同月比 ▲18.3%) 輸入総額 158,315 百万円 (前年同月比 +5.6%)	(平成 26 年 10 月) 輸出総額 6,688,662 百万円 (前年同月比 +9.6%) 輸入総額 7,425,552 百万円 (前年同月比 +3.1%)	5
2-1-5	公共工事	(平成 26 年 11 月) 総額 4,922 百万円 (前年同月比 ▲36.5%) (前年度同期比 ▲11.1%)	(平成 26 年 11 月) 総額 843,749 百万円 (前年同月比 ▲ 10.4%) (前年度同期比 +2.0%)	6
2-1-6	新設住宅着工	(平成 26 年 10 月) 着工戸数 543 戸 (前年同月比 ▲13.8%) (前年度同期比 ▲12.8%)	(平成 26 年 10 月) 着工戸数 79,171 戸 (前年同月比 ▲12.3%) (前年度同期比 ▲11.7%)	7
2-1-7	企業倒産	(平成 26 年 11 月) 件数 1 件 (前年同月比 ▲75.0%) 負債総額 12 百万円(同▲99.1%)	(平成 26 年 11 月) 件数 736 件(前年同月比▲14.6%) 総額 1,155 億円 (同 ▲16.3%)	8
2-1-8	職業紹介	(平成 26 年 10 月) 有効求人倍率 0.94 倍 (前月差 + 0.01 ポイント) (前年同月差 + 0.14 ポイント)	(平成 26 年 10 月) 有効求人倍率 1.10 倍 (前月差 + 0.01 ポイント) (前年同月差 + 0.12 ポイント)	9
2-2	景気動向指数 (DI)	(平成 26 年 9 月) 一致指数 100.0% 6 か月ぶりに 50%を上回った	(平成 26 年 9 月) 一致指数 70.0% 6 か月ぶりに 50%を上回った	11

1 大分県の推計人口

平成26年11月1日現在の本県の推計総人口は1,171,455人で、前月に比べ247人減少した。前月との増減要因をみると、自然動態で334人の減少、社会動態で87人の増加となっている。

大分県の人口、人口動態の推移



(注) 総人口は翌月の1日現在

単位：人、世帯

毎月	総人口	1ヵ月間の人口動態							世帯数
		人口増減	自然動態			社会動態			
			出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
H25/10	1,178,372	-403	844	1,189	-345	2,477	2,535	-58	489,355
11	1,177,900	-472	721	1,145	-424	2,055	2,103	-48	491,391
12	1,177,352	-548	811	1,175	-364	2,066	2,250	-184	493,453
H26/1	1,176,563	-789	886	1,484	-598	2,183	2,374	-191	493,114
2	1,175,821	-742	779	1,218	-439	2,178	2,481	-303	492,865
3	1,172,043	-3,778	740	1,238	-498	7,088	10,368	-3,280	492,696
4	1,172,972	929	765	1,207	-442	6,725	5,354	1,371	494,516
5	1,172,594	-378	762	1,135	-373	2,424	2,429	-5	494,728
6	1,172,170	-424	740	1,010	-270	2,270	2,424	-154	494,884
7	1,171,673	-497	830	1,063	-233	2,785	3,049	-264	494,986
8	1,171,451	-222	714	1,006	-292	2,593	2,523	70	495,029
9	1,171,702	251	851	1,108	-257	3,002	2,494	508	495,644
10	1,171,455	-247	785	1,119	-334	2,550	2,463	87	495,839
この1年間の計		-6,917	9,384	13,908	-4,524	37,919	40,312	-2,393	—

注) 人口及び世帯数は、平成22年国勢調査による確定人口及び世帯数を基にした当該月の翌月1日現在の推計値。

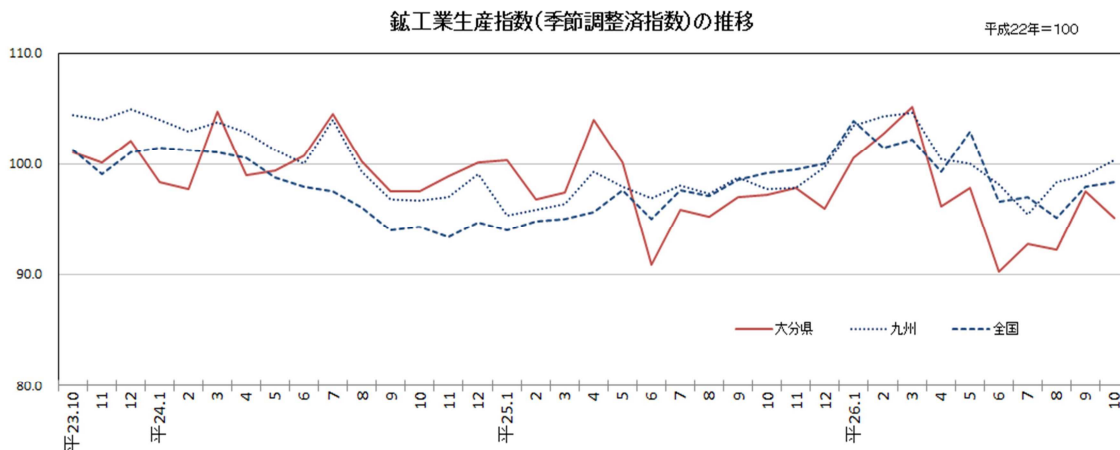
資料：県統計調査課「大分県の人口推計結果【月報】平成26年10月分」

2-1-1 鋳工業指数

平成26年10月の大分県鋳工業生産指数（季節調整済指数）は95.2（前月比▲2.4%）となり、2か月ぶりで減少した。前月に比べ上昇した業種は、「電気・情報通信機械工業」、「繊維工業」、「鉄鋼業」等の4業種で、低下した業種は「はん用・生産用・業務用機械工業」、「輸送機械工業」、「窯業・土石製品工業」等の10業種となっている。

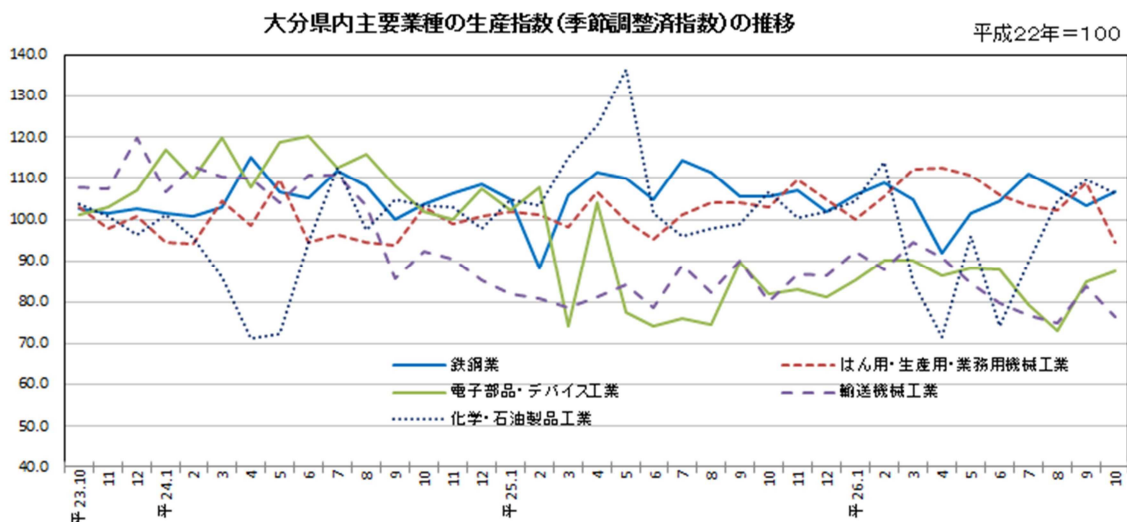
区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比 (%)		前年同月比 (%)
大 分 県	生 産	95.2	▲ 2.4	100.6	▲ 2.0
	出 荷	90.9	▲ 3.1	97.1	▲ 4.2
	在 庫	94.7	3.0	95.8	▲ 8.0
全 国	生 産	98.4	0.4	101.4	▲ 0.8
	出 荷	98.6	0.6	99.9	▲ 0.4
	在 庫	111.3	▲ 0.4	113.8	3.8
九 州	生 産	100.4	1.8	105.5	2.7
	出 荷	102.0	1.6	106.2	1.6
	在 庫	122.4	▲ 0.5	124.2	10.2

※九州は速報値 資料：経済産業省「鋳工業生産・出荷・在庫指数確報」、県統計調査課



○業種別動向（生産指数）

上昇業種			低下業種		
業種名	前月比(%)	寄与率(%)	業種名	前月比(%)	寄与率(%)
電気・情報通信機械工業	27.5	▲12.0	はん用・生産用・業務用機械工業	▲13.3	104.4
繊維工業	8.7	▲0.9	輸送機械工業	▲8.7	24.5
鉄鋼業	3.4	▲20.1	窯業・土石製品工業	▲7.3	16.7



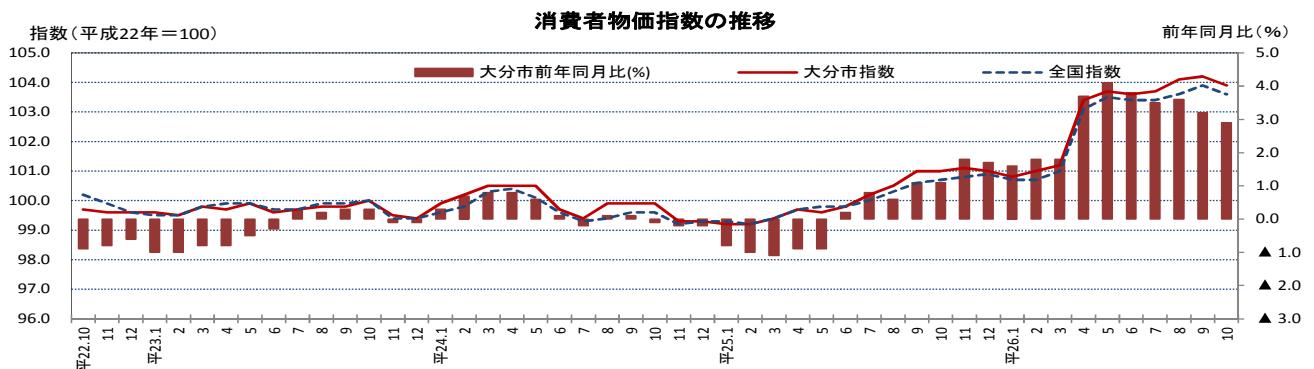
2-1-2 消費者物価

平成26年10月の大分市消費者物価指数は、平成22年を100としたとき103.9となり、前月に比べて0.3%下落した。これを10大費目別にみると、「食料」が野菜・海藻、魚介類の値下がりなどにより1.2%下落したこと、「交通・通信」が自動車等関係費、通信の値上がりなどにより0.3%上昇したことなどによる。

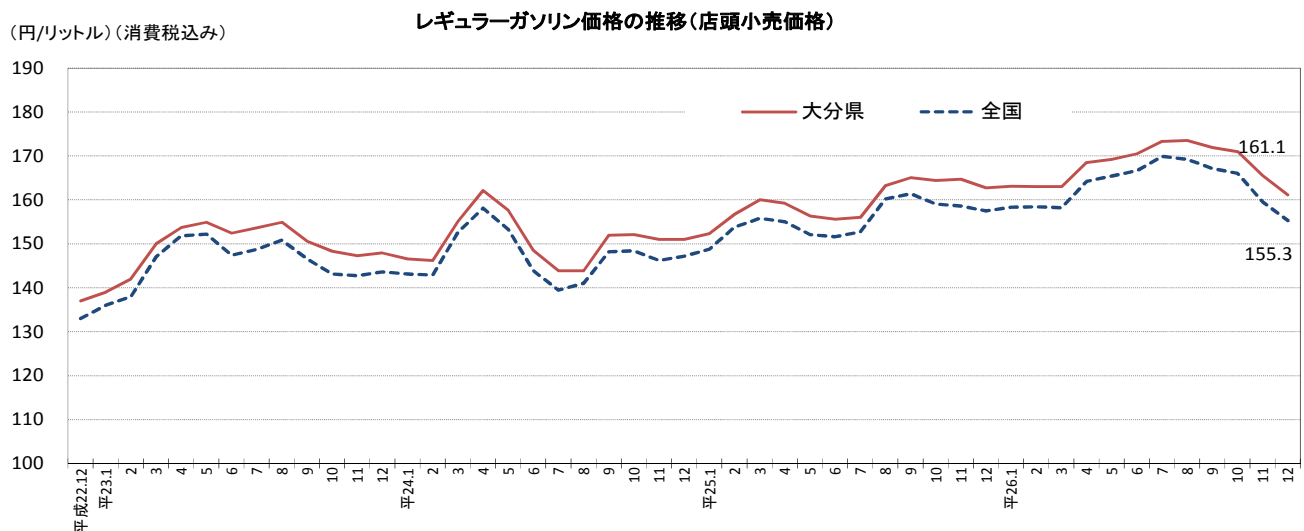
(平成22年=100)

費目	大分市				全国		
	ウェイト	平成26年10月指数	前月比(%)	前年同月比(%)	平成26年10月指数	前月比(%)	前年同月比(%)
総合	10,000	103.9	▲0.3	2.9	103.6	▲0.3	2.9
生鮮食品を除く総合	9,615	103.8	0.0	2.8	103.6	0.1	2.9
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6,727	101.5	0.1	2.4	100.9	0.3	2.2
食料	2,574	104.0	▲1.2	3.7	104.0	▲1.4	3.8
生鮮食品	385	107.4	▲6.6	2.9	103.9	▲8.4	2.4
住居	2,002	99.2	0.1	▲0.1	99.1	0.1	0.2
光熱・水道	662	117.8	▲0.2	4.5	120.8	▲0.4	4.8
家具・家事用品	439	92.8	▲0.8	3.8	93.3	0.4	3.9
被服及び履物	448	100.9	▲0.1	3.2	105.9	0.6	3.1
保健医療	359	100.2	0.1	3.4	99.4	0.0	1.3
交通・通信	1,443	108.9	0.3	2.6	106.6	0.2	3.2
教育	269	101.4	0.0	4.2	101.1	0.0	2.2
教養娯楽	1,162	101.9	0.0	4.3	98.6	0.4	4.6
諸雑費	642	109.5	0.3	3.0	109.3	0.2	2.3

資料：総務省「消費者物価指数月報」、県統計調査課



参考：レギュラーガソリン価格の推移(店頭現金価格(消費税込み))



2-1-3 大型小売店販売額

平成 26 年 10 月の県内大型小売店販売額は 97 億 00 百万円、前年同月比は全店ベースで▲1.0%、既存店ベースで▲1.0%といずれも 7 か月連続の減少となった。

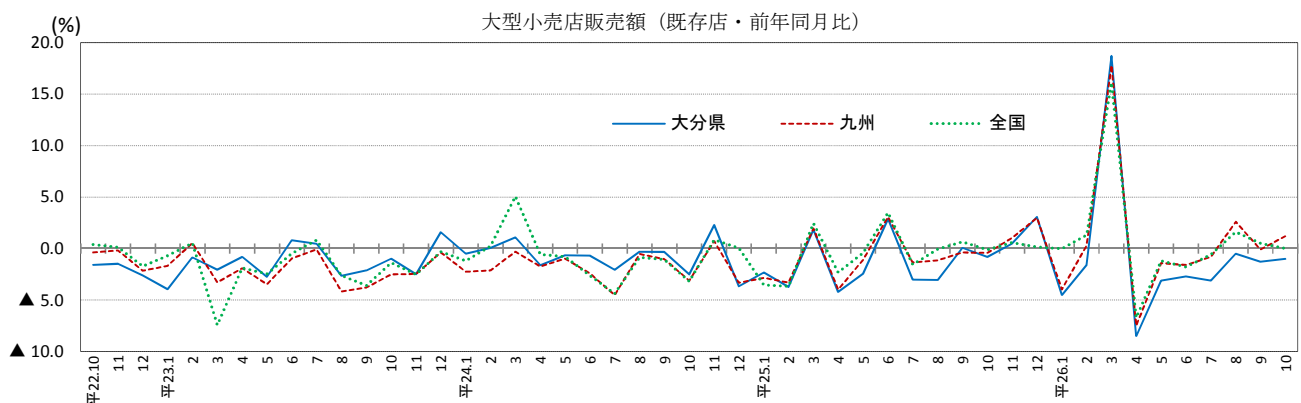
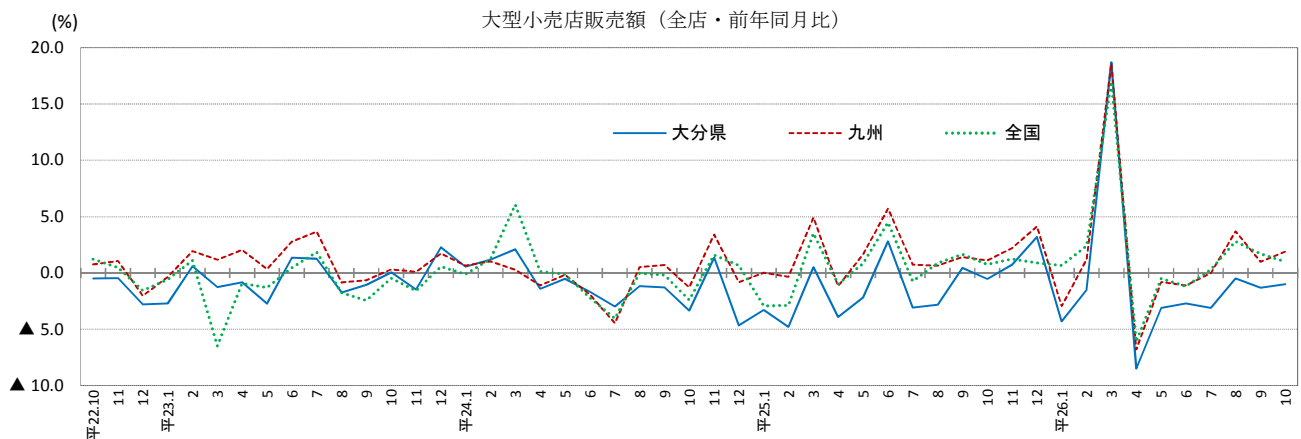
地域別 商品別	大分県			全国		
	百貨店	スーパー	計	百貨店	スーパー	計
	3 店	34 店	37 店	250 店	5,088 店	5,338 店
	販売額 (百万円)	前年同月比 (%)		販売額 (百万円)	前年同月比 (%)	
全 店		既存店	全 店		既存店	
総額	9,700	▲1.0	▲1.0	1,606,490	1.0	0.0
衣 料 品	3,168	▲3.7	▲3.7	371,758	▲1.7	▲1.5
飲 食 料 品	4,276	1.2	1.2	873,805	2.6	1.0
そ の 他	2,255	▲1.1	▲1.1	360,927	▲0.0	▲0.5

資料：経済産業省「商業販売統計」（平成 26 年 10 月分確報）

注 1：「百貨店」は、注 2 の「スーパー」を除き、売り場面積が特別区及び政令指定都市では 3,000 m²以上、その他の地域では 1,500 m²以上

注 2：「スーパー」は、売り場面積の 50%以上でセルフサービス方式、かつ売り場面積が 1,500 m²以上

注 3：「その他」は、家具、家電、家庭用品、食堂・喫茶など



○ 参考 コンビニエンスストアの動向（平成 26 年 10 月）

九州			全国			
店舗数	4,675	(前年同月比+4.40 %)	店舗数	52,387	(前年同月比+5.18 %)	
商品販売額及びサービス売上高 (百万円)	前年同月比 (%)		商品販売額及びサービス売上高 (百万円)	前年同月比 (%)		
	全店	既存店		全店	既存店	
	79,146	6.1	0.8	893,541	6.0	1.1

資料：経済産業省「商業販売統計」、九州経済産業局「九州コンビニエンス・ストア販売動向」（平成 26 年 10 月分確報）

注：調査対象は一定規模以上のコンビニエンスストアのチェーン企業本部。平成 25 年 1 月分から「九州」は沖縄県を含まない。

2-1-4 外国貿易

平成26年10月の輸出額は650億79百万円（前年同月比▲18.3%）で2か月ぶりのマイナスとなった。有機化合物、銅及び同合金、映像機器、船舶類などが減少した。輸入額は1,583億15百万円（同+5.6%）で2か月連続のプラスとなった。原油及び粗油、揮発油、液化天然ガスなどが増加した。

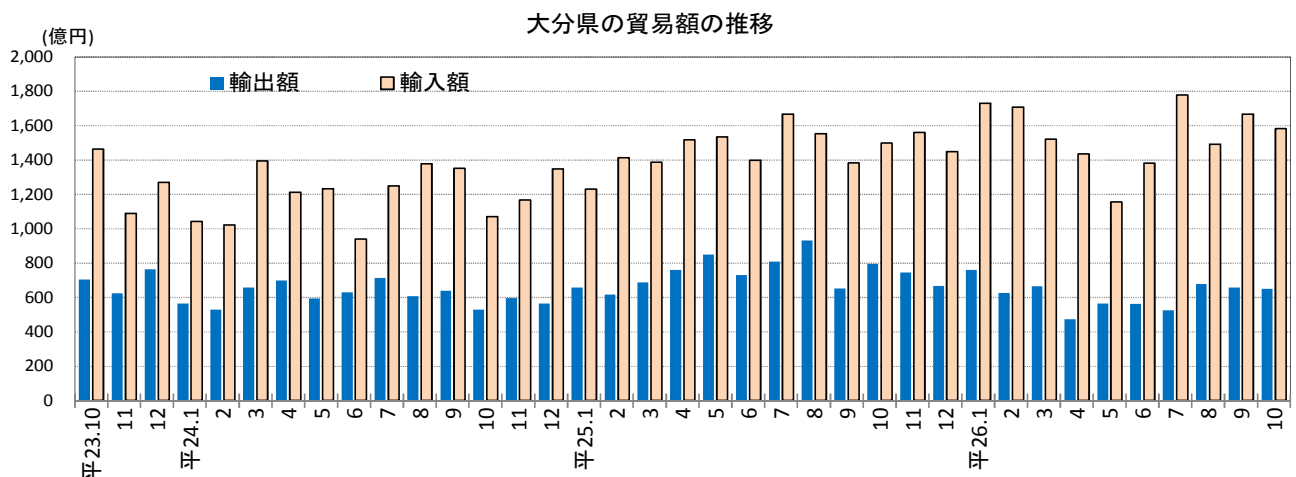
（10月分速報）

（単位：百万円、%）

区分	輸 出				輸 入			
	主要品目等	26年10月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比	主要品目等	26年10月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比
大分県	総額	65,079	▲18.3	▲17.7	総額	158,315	5.6	5.9
大分港	有機化合物	13,602	▲11.4	▲30.1	鉄鉱石	28,638	▲5.9	9.4
	プラスチック	1,258	17.7	25.4	銅鉱	20,216	▲16.3	6.8
	鉄鋼	22,334	7.8	▲3.1	石炭	10,763	▲31.2	▲9.0
	銅及び同合金	7,908	▲11.8	0.5	原油及び粗油	44,131	2.7	▲1.9
	事務用機器	8,207	17.9	▲7.9	揮発油	15,274	62.8	10.7
	映像機器	1,357	▲87.3	▲58.6	液化石油ガス	10,701	139.2	26.0
	船舶類	—	—	▲70.2	液化天然ガス	21,762	56.8	15.5
	計	62,397	▲21.0	▲19.5	計	157,058	5.4	5.9
佐伯港	船舶類	1,900	全増	15.2	鉄鋼	69	61.7	48.4
	魚介類(鮮魚・冷凍)	—	—	全増	石こう	—	—	12.6
	木材	51	117.0	141.7	動物性原材料	53	20.1	140.5
	原動機	—	—	—	魚介類(生鮮・冷凍)	—	全減	38.2
	木製品	—	—	—	木材	—	—	—
	計	1,951	8,224.7	16.8	計	144	34.3	26.8
津久見港	船舶類	—	—	32.0	石炭	1,096	36.2	24.0
	セメント	663	21.5	12.1	石油コークス	—	—	▲24.6
	石灰石	52	355.6	47.1	アルコール飲料	16	▲26.4	▲24.0
	計	731	30.3	26.7	計	1,113	34.5	13.5
大分空港	再輸出品	—	—	全減	金属製品	—	—	全減
					一般機械	—	—	▲63.0
					輸送用機器	—	—	7.3
					糖類及び同調製品	—	—	全増
	計	—	—	全減	計	—	—	▲47.7
全国	総額	6,688,662	9.6	3.9	総額	7,425,552	3.1	6.9

資料：財務省「貿易統計（輸出確報；輸入速報）」、大分税関支署「管内貿易概況」（平成26年10月分）

注）「前年同期比」は、暦年（1～12月）累計の比較（増減率）



2-1-5 公共工事

平成26年11月の県内公共工事請負金額は49億22百万円で、前年同月に比べて36.5%の減となり、4か月連続して減少した。発注者別では、独立行政法人等が前年同月比で72.4%、国が同63.6%、県が同41.8%、市町村が同25.5%、その他公共的団体が同23.8%減少した。

(単位:百万円、%)

項目 発注者	大分県				全国			
	26年 11月	前年 同月比	26年度 累計	前年度 同期比	26年 11月	前年 同月比	26年度 累計	前年度 同期比
総額	4,922	▲ 36.5	110,324	▲ 11.1	843,749	▲ 10.4	10,969,344	2.0
国	321	▲ 63.6	19,054	▲ 41.4	98,846	▲ 10.5	1,752,477	▲ 12.6
独立行政法人等	47	▲ 72.4	9,926	75.6	80,961	▲ 5.8	984,102	▲ 4.7
都道府県	1,574	▲ 41.8	38,712	▲ 2.5	279,444	▲ 12.9	3,150,352	4.9
市区町村	2,847	▲ 25.5	40,106	▲ 0.8	332,180	▲ 11.4	4,388,257	7.5
その他の公共的団体	131	▲ 23.8	2,512	▲ 56.3	52,314	6.3	694,136	10.1

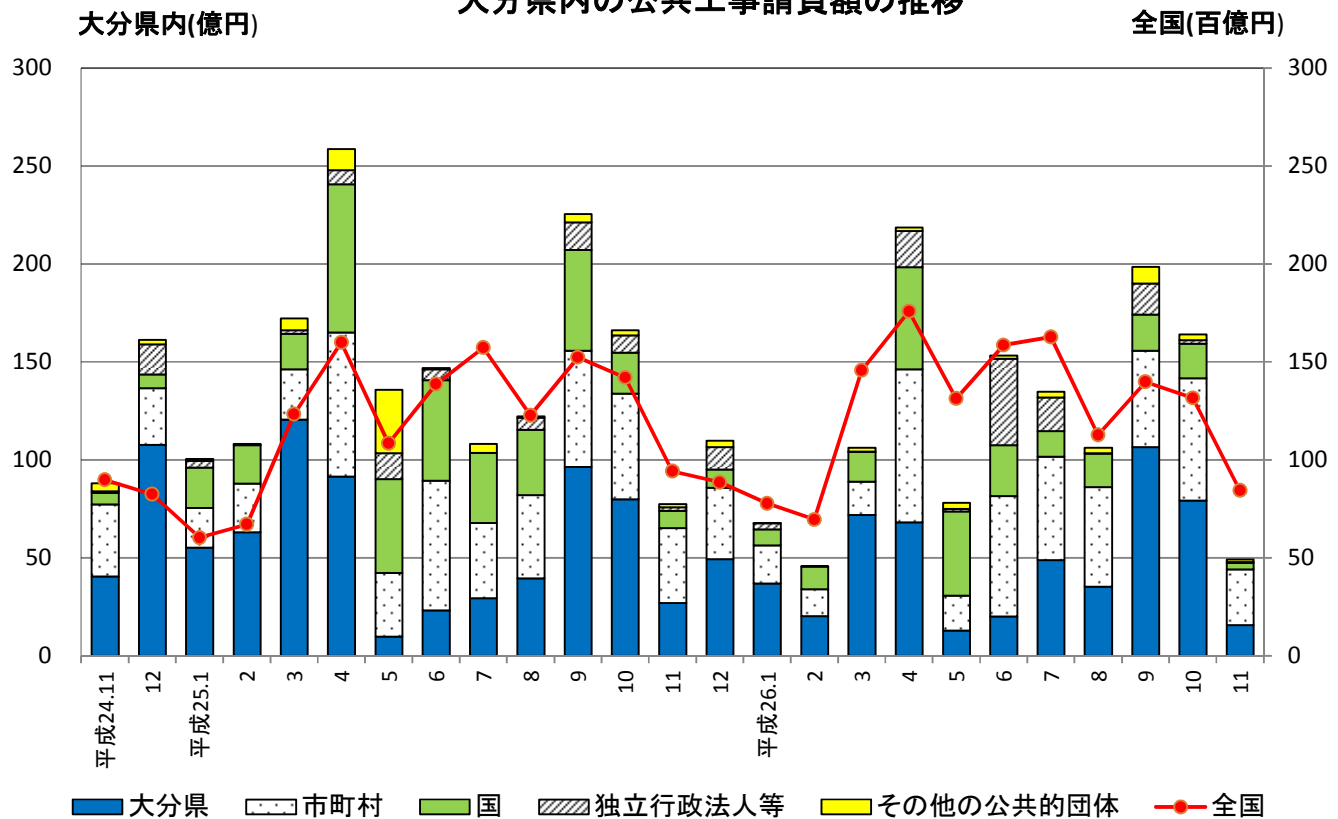
注1:「この統計は、公共工事の前払金保証を集計した業務統計であり、公共工事のほとんどをカバーしている。」(西日本建設業保証株)

注2:「独立行政法人等」には独立行政法人のほか、各高速道路(株)、国立大学法人、大学共同利用機関法人、特殊法人等を含む。

注3:「前年度同期比」は、年度(4月～翌年3月)累計の比較(増減率)

注4:「26年度累計」及び「前年度同期比」は、統計調査課で計算

大分県内の公共工事請負額の推移



2-1-6 新設住宅着工

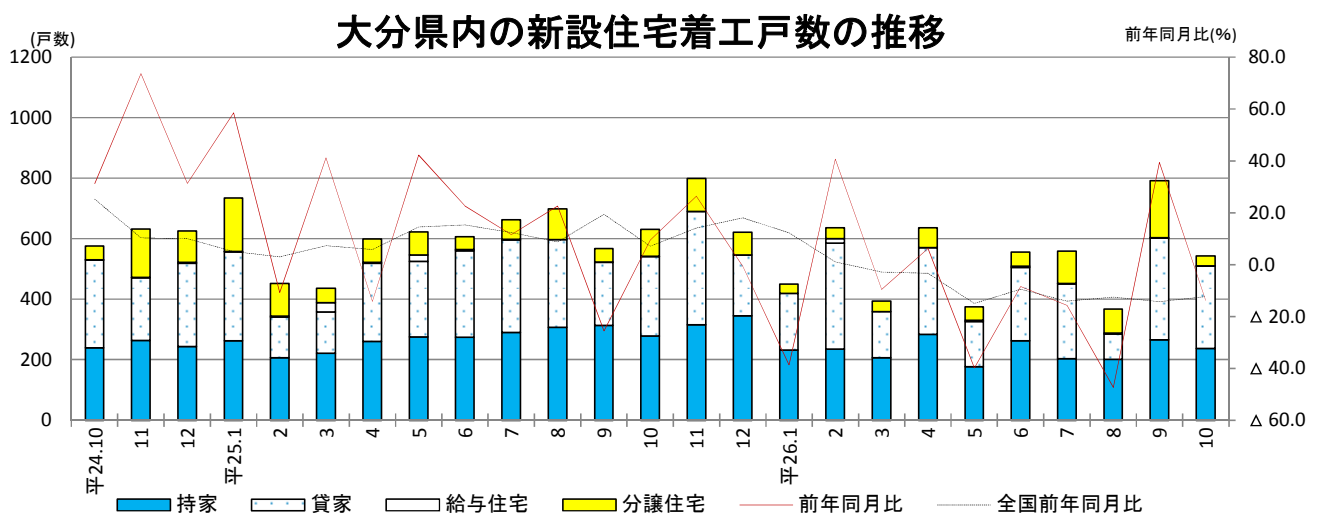
平成26年10月の新設住宅着工戸数は543戸で、前年同月に比べ▲13.8%と2ヵ月ぶりに減少した。内訳は、持家237戸(同▲15.1%)、分譲住宅33戸(同▲62.5%)などであった。

(単位：戸、%)

項目 利用 関係別	大分県				全国			
	26年 10月	前年 同月比	26年度 累計	前年度 同期比	26年 10月	前年 同月比	26年度 累計	前年度 同期比
総数	543	▲13.8	3,829	▲12.8	79,171	▲12.3	520,538	▲11.7
持家	237	▲15.1	1,632	▲18.4	24,245	▲28.6	167,587	▲22.7
貸家	272	3.8	1,616	▲13.1	33,628	▲4.1	210,437	▲1.0
給与住宅	1	0.0	16	▲51.5	478	▲31.5	4,125	23.7
分譲住宅	33	▲62.5	565	13.9	20,820	1.6	138,389	▲11.6

資料：国土交通省総合政策局「建築着工統計調査」、県建築住宅課

注：「前年度同期比」は、年度（4月～翌年3月）累計の比較（増減率）



○ 市町村別新設住宅着工戸数（26年10月）

	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	計
大分市	94	120	0	19	233
別府市	29	54	0	10	93
中津市	16	22	0	0	38
日田市	17	14	0	0	31
佐伯市	18	25	0	2	45
臼杵市	5	0	0	0	5
津久見市	1	0	0	0	1
竹田市	4	2	0	0	6
豊後高田市	7	0	0	0	7
杵築市	1	0	0	0	1
宇佐市	13	9	1	0	23
豊後大野市	4	2	0	0	6
由布市	10	8	0	0	18
国東市	7	0	0	0	7
姫島村	0	0	0	0	0
日出町	8	16	0	1	25
九重町	2	0	0	0	2
玖珠町	1	0	0	1	2
県計	237	272	1	33	543

資料：県建築住宅課

注：国土交通省と県建築住宅課発表の数値は、データ読み取り方法により異なる場合がある。

2-1-7 企業倒産

平成26年11月の県内企業倒産は、件数が1件（前年同月比▲75.0%）、負債総額は12百万円（同▲99.1%）となった。業種別では、建設業が1件。原因別では、販売不振1件であった。

大分県内企業倒産

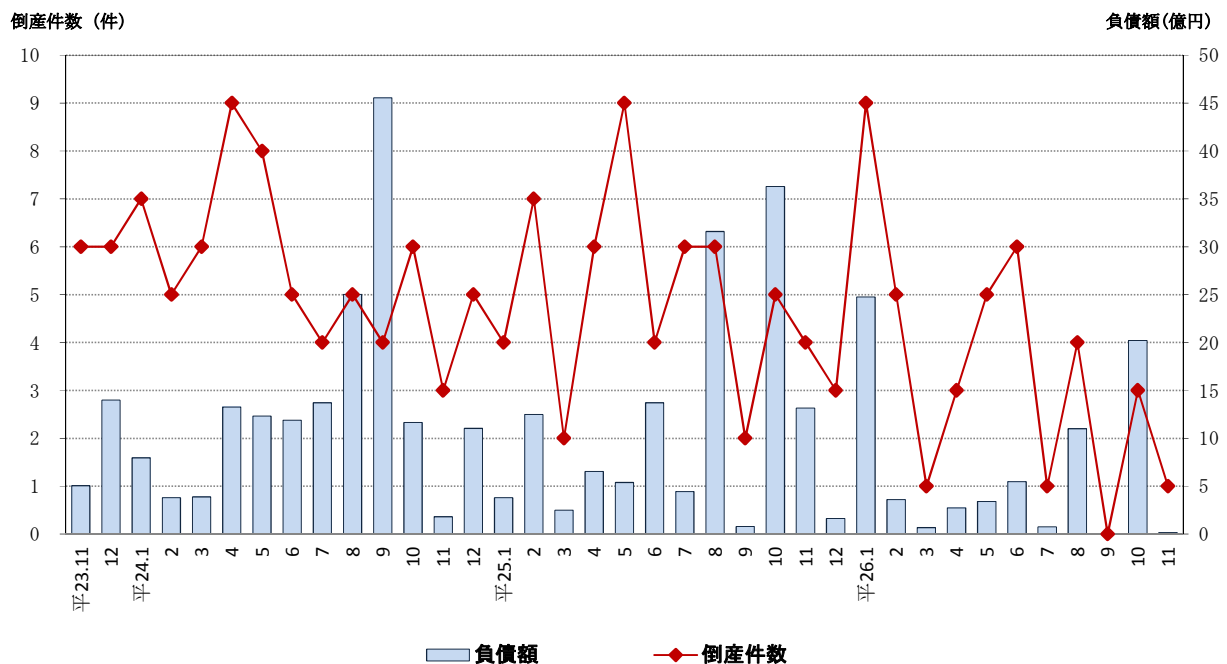
（単位：件、百万円、%）

	倒産 件数	負債 金額	1件当り 負債金額	原因別							
				放漫経営		販売不振		連鎖		その他	
				件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額
21	97	21,012	217	4	294	51	9,175	9	1,809	33	9,734
22	71	9,312	131	4	1,184	37	3,123	4	162	26	4,843
23	66	14,376	218	4	570	22	3,862	1	418	39	9,526
24	67	16,178	241	5	4,973	34	5,710	5	641	23	4,854
25	58	13,216	228	4	3,088	30	3,668	6	442	18	6,018
対前年比	▲13.4	▲18.3	▲5.6	▲20.0	▲37.9	▲11.8	▲35.8	20.0	▲31.0	▲21.7	24.0
26/11	4	1,315	329	-	-	1	56	1	11	2	1,248
12	3	160	53	-	-	3	160	-	-	0	0
26/1	9	2,475	275	1	30	3	482	1	35	4	1,928
2	5	358	72	-	-	2	250	-	-	3	108
3	1	66	66	-	-	-	-	-	-	1	66
4	3	273	91	-	-	1	10	-	-	2	263
5	5	340	68	-	-	3	231	-	-	2	109
6	6	545	91	-	-	1	15	1	56	4	474
7	1	74	74	-	-	-	-	-	-	1	74
8	4	1,099	275	-	-	1	16	1	59	2	1,024
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	3	2,022	674	-	-	2	22	1	2,000	-	-
11	1	12	12	-	-	1	12	-	-	-	-
対前月比	▲66.7	▲99.4	▲98.2	-	-	▲50.0	▲45.5	▲100.0	▲100.0	-	-
対前年同月比	▲75.0	▲99.1	▲96.3	-	-	0.0	▲78.6	▲100.0	▲100.0	▲100.0	▲100.0

資料：東京商工リサーチ大分支店「大分県企業倒産状況」（負債総額1000万円以上）

注）「対前年比」、「対前月比」及び「対前年同月比」は増減率

大分県内企業倒産件数、負債額の推移



2-1-8 職業紹介

平成26年10月の有効求人倍率（季節調整値）は0.94倍で、前月を0.01ポイント上回った。正社員有効求人倍率（原数値）は0.68倍となり、前年同月を0.12ポイント上回った。

（単位：人、件、倍、%、ポイント）

			大分県			全国		
			26年10月	前月比(差)	前年同月比(差)	26年10月	前月比(差)	前年同月比(差)
一般 パートタイムを含む (新規学卒者を除き)	求職	新規求職申込件数	5,592	▲ 8.8	▲ 9.9	496,907	▲ 1.7	▲ 6.7
		月間有効求職者数	23,034	▲ 1.0	▲ 10.6	2,067,430	0.2	▲ 7.0
	求人	新規求人数	8,899	8.1	5.0	917,184	6.9	1.1
		月間有効求人数	22,437	2.7	5.5	2,363,217	2.6	3.6
	求人倍率	新規求人倍率	1.52	0.15	0.25	1.69	0.02	0.12
		有効求人倍率	0.94	0.01	0.14	1.10	0.01	0.12
	就職件数		2,534	▲ 5.8	▲ 14.6	176,341	1.6	▲ 6.5
正社員	常用フルタイム有効求職者数		14,933	▲ 2.2	▲ 13.7	1,418,109	▲ 0.2	▲ 9.3
	正社員新規求人数		3,853	4.9	2.6	381,212	9.2	3.2
	正社員有効求人数		10,086	1.6	4.4	995,001	2.1	4.5
	正社員有効求人倍率		0.68	0.03	0.12	0.70	0.01	0.09
	正社員就職件数		1,077	▲ 10.1	▲ 14.4	77,063	1.7	▲ 4.5

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局

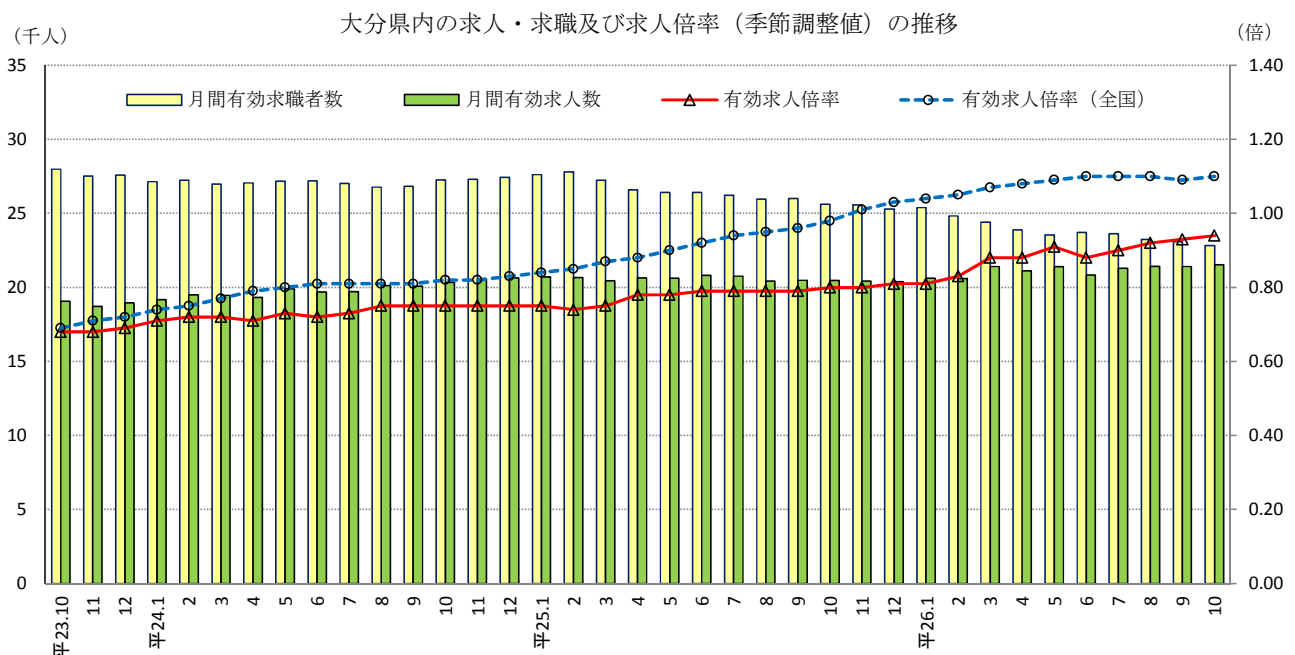
注1：新規求人倍率 = 新規求人数 ÷ 新規求職申込件数

注2：有効求人倍率 = 月間有効求人数 ÷ 月間有効求職者数

注3：「一般」において新規求人倍率・有効求人倍率は「季節調整値」、その他は「原数値」

注4：「正社員」に関する数値はすべて「原数値」

注5：正社員有効求人倍率 = 正社員有効求人数 ÷ 常用フルタイム有効求職者数



安定所別月間有効求人倍率の推移

年度 月	大分	別府	中津	日田	佐伯	宇佐	豊後 大野	大分県 原数値	(単位:倍)		(単位:%)	
									大分県	全 国	完全失業率	
											大分県	全 国
21	0.49	0.40	0.39	0.47	0.56	0.42	0.56	0.46	0.45	4.4	5.1	
22	0.57	0.56	0.52	0.54	0.63	0.69	0.63	0.58	0.56	4.6	5.1	
23	0.64	0.67	0.66	0.64	0.74	0.80	0.86	0.68	0.68	4.1	[4.6]	
24	0.72	0.67	0.72	0.84	0.81	0.83	0.85	0.74	0.82	4.0	4.3	
25	0.81	0.66	0.78	0.93	0.81	0.86	1.05	0.80	0.97	3.8	4.0	

10	0.83	0.68	0.84	0.98	0.82	0.87	1.11	0.83	0.80	0.98	3.8	4.0
11	0.83	0.71	0.77	0.92	0.82	0.91	1.17	0.83	0.80	1.01		3.9
12	0.89	0.72	0.83	0.90	0.88	0.96	1.30	0.87	0.81	1.03		3.7
26.1	0.88	0.72	0.81	0.88	0.90	1.03	1.22	0.87	0.81	1.04	3.4	3.7
2	0.92	0.74	0.90	0.92	0.94	1.02	1.16	0.90	0.83	1.05		3.6
3	0.93	0.74	0.88	0.90	0.93	0.99	1.13	0.90	0.88	1.07	3.8	3.6
4	0.87	0.65	0.81	0.79	0.85	0.88	1.05	0.82	0.88	1.08		3.6
5	0.84	0.66	0.82	0.75	0.87	0.85	1.05	0.81	0.91	1.09		3.5
6	0.86	0.66	0.83	0.79	0.91	0.89	1.01	0.83	0.88	1.10	3.1	3.7
7	0.87	0.77	0.91	0.86	0.90	0.99	1.07	0.87	0.90	1.10		3.8
8	0.89	0.82	0.95	0.90	0.89	1.04	1.15	0.90	0.92	1.10	3.1	3.5
9	0.94	0.85	0.98	0.91	0.89	1.08	1.19	0.94	0.93	1.09		3.6
10	0.96	0.95	0.98	0.91	0.91	1.15	1.23	0.97	0.94	1.10		3.5

九州・沖縄八県別有効求人倍率の推移

	(単位:倍)				
	26年10月	26年9月	25年10月	前月差 (ポイント)	前年同月差 (ポイント)
福岡県	1.01	0.99	0.84	0.02	0.17
佐賀県	0.88	0.91	0.80	▲ 0.03	0.08
長崎県	0.83	0.87	0.76	▲ 0.04	0.07
熊本県	1.05	1.04	0.92	0.01	0.13
大分県	0.94	0.93	0.80	0.01	0.14
宮崎県	0.95	0.93	0.82	0.02	0.13
鹿児島県	0.78	0.76	0.71	0.02	0.07
沖縄県	0.76	0.75	0.59	0.01	0.17
九州平均	0.92	0.91	0.79	0.01	0.13
全 国	1.10	1.09	0.98	0.01	0.12

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」

注1：有効求人倍率の各年度は原数値。各月は季節調整値。なお、平成25年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

注2：佐伯所は平成19年度以前の旧臼杵所数値を含む。

注3：九州平均は、九州各県の有効求人数(季調値)の合計を有効求職者数(季調値)の合計で除したものである。

注4：完全失業率の推移は年。全国の月分は季節調整値。大分県の期分は、モデル推計値(総務省統計局公表)。

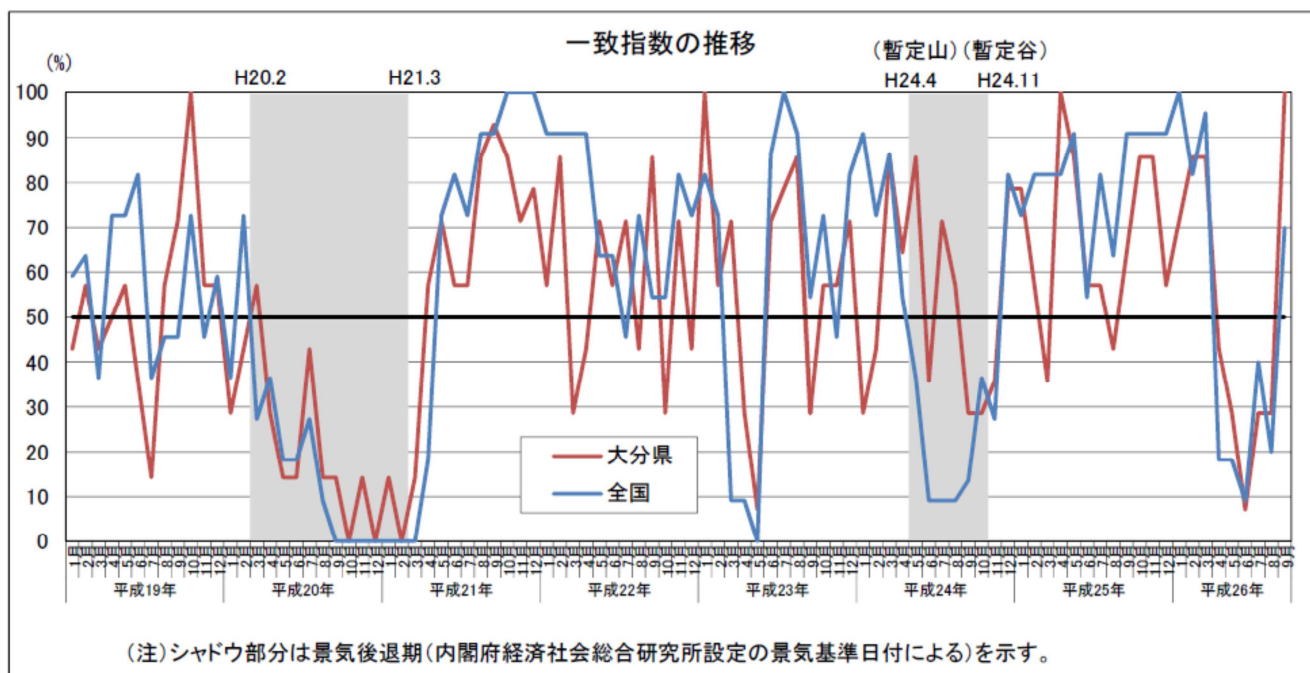
(全国の平成25年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。)

(全国の[]内数値は、補間推計値。)

(大分県の平成25年12月以前のモデル推計値はH26.2.28に遡及改訂されている。)

2-2 景気動向指数

平成26年9月分の大分県景気動向指数(DI)をみると、景気にほぼ一致して動く一致指数は100.0%となり、6か月ぶりに50%を上回った。また、景気に対し先行して動く先行指数は16.7%となり、2か月連続して50%を下回った。他方、景気に対し遅れて動く遅行指数は、33.3%となり、19か月ぶりに50%を下回った。



資料：内閣府経済社会総合研究所、県統計調査課

注1：指数が50%を上回る期間は「景気回復・拡大期」、50%を下回る期間は「景気後退期」とみる。

注2：シャドウ部分は景気後退期（内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による）を示す。

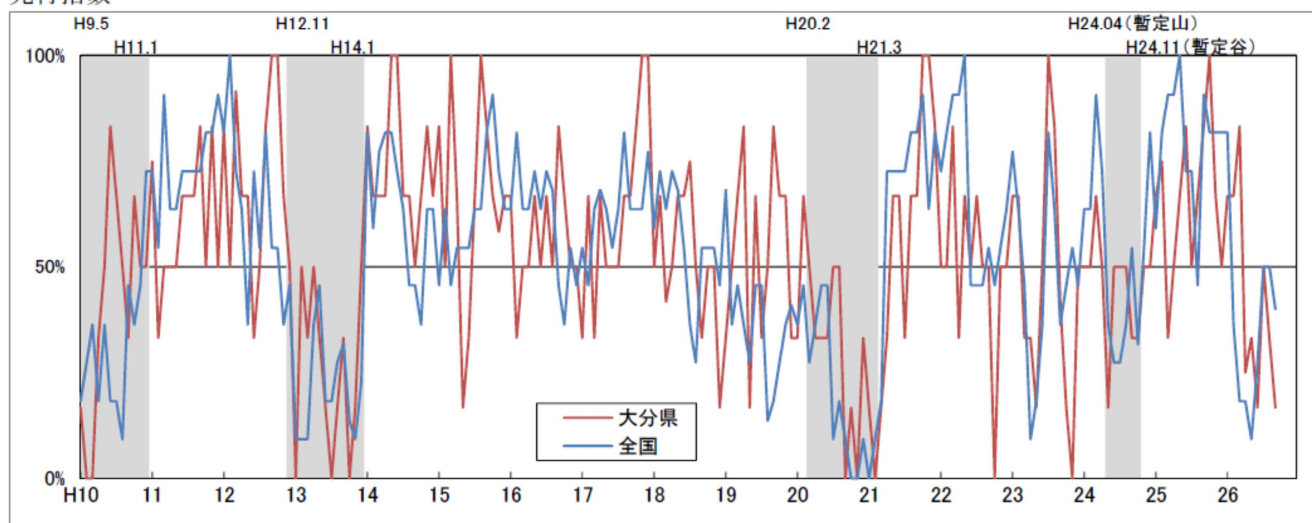
個別指標の動き（平成26年9月分）

プラスの指標	連続月数	マイナスの指標	連続月数
先行系列			
		01 新規求人数	2
		02 所定外労働時間	1
		03 鉱工業在庫率(逆)	2
04 不渡手形発生枚数(逆)	2	05 雇用保険初回受給者数(逆)	2
		06 日経商品指数 (42種)	9
一致系列			
01 鉱工業生産指数	1		
02 鉱工業出荷指数	1		
03 投資財生産指数	1		
04 大口電力販売量	1		
05 有効求人倍率	3		
06 県内新車販売台数	1		
07 県内輸入額	3		
遅行系列			
01 有効求職者数(逆)	19		
02 常用雇用指数	15		
		03 資本財出荷指数	4
		04 第3次産業活動指数	5
		05 大分市消費者物価指数	2
		06 法人事業税調定額	1

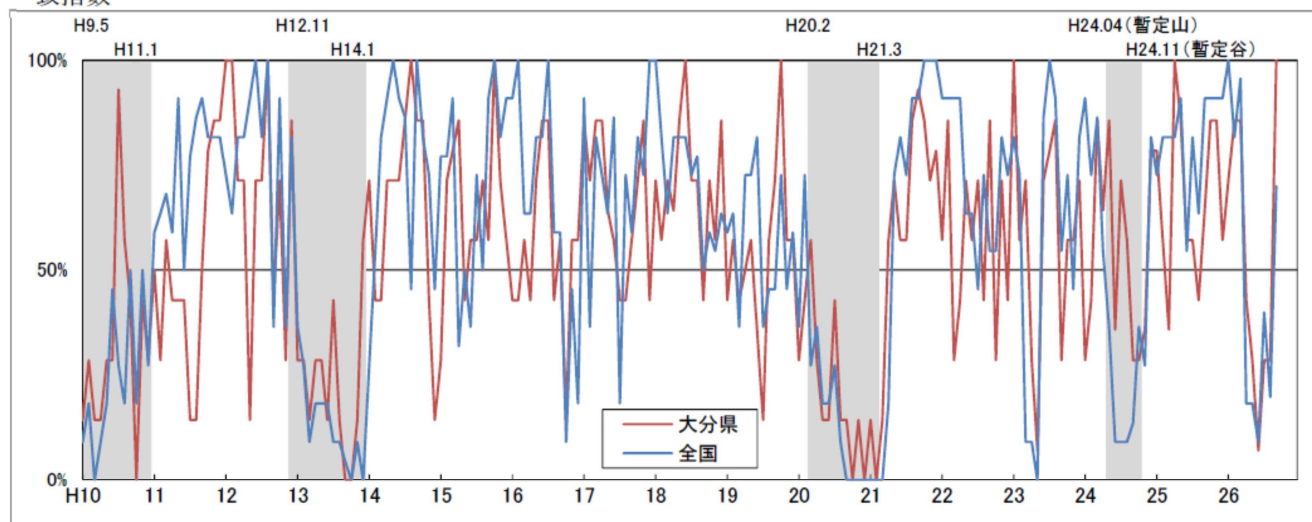
大分県景気動向指数（DI）の動き

平成26年9月

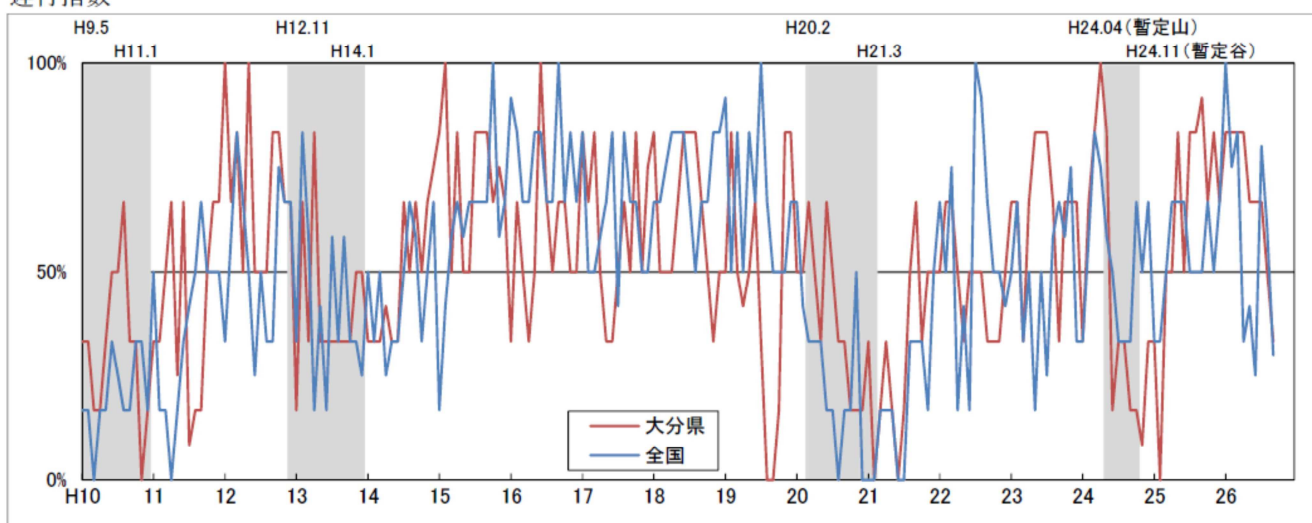
先行指数



一致指数



遅行指数



(注) シャドウ部分は景気後退期（内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による）を示す。

問合せ先

大分県大分市大手町3丁目1番1号（〒870-8501）

大分県企画振興部 統計調査課 統計分析班

電話：(097) 506-2446（直通）

FAX：(097) 506-1727

メール：a10800@pref.oita.lg.jp